

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	芸術・文化活動の推進	コード	作成者	役職	文化スポーツ課長
		02-03-11		氏名	大道健一
			電話	63-3813	
			このシート作成に要した時間	2.0 時間	

この施策の アピール ポイント	県内の子どもを対象とする焼物作品展の実施は本市だけ。国民文化祭を継承する取組み。
-----------------------	--

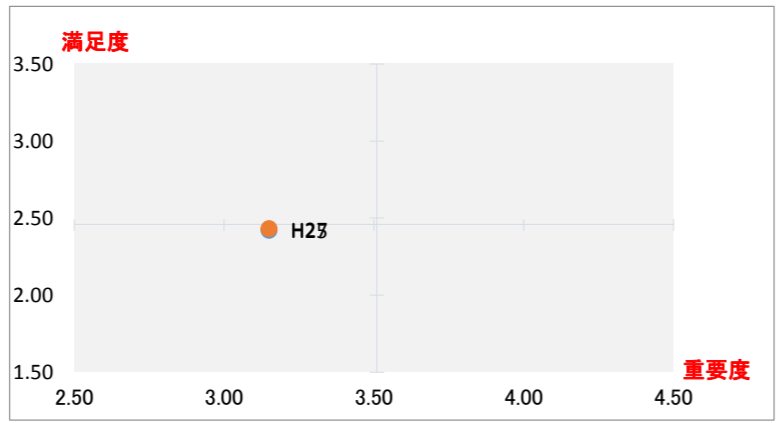
この施策の 平成27年度の 施政方針	
--------------------------	--

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	自己実現施策「生涯学習、歴史、文化」
	基本計画 (中項目)	豊かな自然、歴史、文化の中で心豊かに暮らせるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民だれもが、いつでも気軽に芸術・文化にふれることで、楽しみや感動を味わい、心豊かな生活が送れるようにするため。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	芸術・文化は、ゆとりとうるおいの実感できる心豊かな生活を実現していく上で不可欠なものです。それらにふれる機会が十分確保されているとはいえません。市民が身近なところで、いつでも、気軽に音楽や演劇、美術にふれるなど、芸術・文化に親しむことができる機会や場所づくりを進めていく必要があります。特に、若者が芸術・文化にふれる機会が少ないことから、幼い頃から芸術・文化に慣れ親しめる機会を提供していくことも重要です。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術・文化にふれる機会の提供 ・ 自主的な活動への支援 ・ 子どもの芸術・文化活動の推進 ・ 担い手の育成 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度		H25	H27
重要度 (%)		3.15	3.15
満足度 (%)		2.42	2.43



《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民の多くは文化・芸術活動に対し関心は示しているが、それらにふれる機会が十分確保されているとはいえない。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H25	H26	H27			H28	H29
成果指標 芸術・文化イベント数	目標	件	260	260	260	市民センター、市民会館、公民館などで実施された芸術・文化イベント数	H28	260
	実績	件	224	261	137		H32	270
	達成率	%	86.2	100.4	52.7		H34	280
	ベンチマーク						—	—
参考指標 文化祭入場者数	目標	人	10,000	10,000	10,000	公民館で開催する文化祭入場者数	H28	10,000
	実績	人	9745	9492	10,171		H32	10,000
	達成率	%	97.5	94.9	101.7		H34	10,000
	ベンチマーク						—	—
参考指標① 芸術・文化に接する機会があった市民の割合	目標	%	50.0	50.0	50.0	市民意識調査結果	H28	53.0
	実績	%		46.5			H32	55.0
	達成率	%		93.0			H34	57.0
	ベンチマーク						—	—
参考指標② 岡山県子ども備前焼作品展応募者数	目標	人	800	800	800	岡山県子ども備前焼作品展応募者数	H28	800
	実績	人	534	584	1,057		H32	800
	達成率	%	66.8	73.0	132.1		H34	800
	ベンチマーク						—	—

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前市中央公民館	備前市文化事業鑑賞会	芸術・文化に触れる機会の創出

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断	理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	文化・芸術に触れる機会を多く提供することにより生活の中にゆとりとうるおいが感じられ心豊かな生活を実現していくことにもつながる。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	一人でも多くの市民が文化・芸術にふれ、自主的な活動が行われるよう支援していくことで振興を図る。また次代を担う子どもたちにも伝統産業である備前焼を通じ芸術・文化を体験する機会を提供することは、将来の芸術文化の担い手の育成にもつながる。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	子ども備前焼作品展の応募可能学年を広げたことにより、応募者が増えた。少子高齢化と人口減少が進む中、指標達成のハードルは上がっているが、魅力ある企画、情報発信・PR活動につとめ市民が文化・芸術活動に一層ふれることができるよう事業を展開していく。	
進行年度 (H28年度) の取組内容 (課題解決状況)		子ども備前焼作品展は第7回目として継続実施するとともに、創作意欲を高めるため優秀作品を備前焼ミュージアムで特別展示する。市民文学賞を第3回目として継続実施し、市民の文芸活動の振興を図る。日本の伝統芸能である日本舞踊を現代的にアレンジした創作劇の公演を実施する。	
翌年度 (H29年度) の取組目標		子ども備前焼作品展、市民文学賞を継続実施するとともに、新たな文化・芸術に触れる機会を検討し、文化・芸術活動の振興を図る。	
二次評価者コメント		ゆとりと潤いのある生活は、人間形成に大切な要素です。市民が様々な文化・芸術に触れることにより、生きがいを感じ、精神面で日々健康に暮らしていくことができます。また、子どもたちに興味を持たせることは、将来の可能性を大きく育みます。本物の芸術、技術、文化を体験し、自分でやってみる機会を増やせるよう取り組むことが大切です。	基本施策への 貢献度 3 中立
役職	市民生活部長		
氏名	大西 武志		

施策構成事務事業の評価

No. 1

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等 (単位：千円, 人)											施策への 貢献度 ☆☆☆☆☆ ～ ☆☆☆☆☆
			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
			直 接 事業費	人件費	人工数	直 接 事業費	人件費	人工数	直 接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
文化活動推進事業	備前吹奏楽フェスティバル事業	単市	105	604	0.07	105	327	0.05	139	293	0.05	153	☆☆☆	
	こども備前焼作品展事業	単市	360	2,100	0.23	350	3,315	0.35	350	2,127	0.23	500	☆☆☆☆	
	市民文学賞	単市				500	2,065	0.21	462	1,018	0.19	500	☆☆☆☆	
	文化芸術活動支援事業								292	1,175	0.13	2,274	☆☆☆☆	
この施策に費やした資源 (単位：千円, 人)			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
			465	2,704	0.30	955	5,707	0.61	1,243	4,613	0.60	3,427		

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	平成4年～	根拠法令・例規等	文化芸術基本振興法	
総合計画	大項目 基本構想	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問 合 先	担当課(室)	文化スポーツ課
	中項目 基本計画	03	豊かな自然、歴史、文化の中で心豊かになるまち		職・氏名	係長 瀬尾茂樹
	小項目 施策	11	芸術・文化活動の推進		電 話	0869-64-1837
事務事業名		01	芸術文化活動推進事業	このシート作成に要した時間		1.5 時間

事業の目的		Plan
対 象 (誰・何に対して)	市内の子どもから大人まで、芸術・文化に興味を持つ人。これから文化芸術活動を地域で行おうとする人。	事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価
目 的 (何のために)	地域の中で芸術文化に親しむ機会を提供し、地域の文化力を高めていくことで、心豊かな市民生活及び活力ある地域社会の実現に寄与する。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	こどもから大人まで豊かな感性や創造性を養い、活力ある市民生活と地域文化の発展に貢献する。	

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明		優先度
	備前吹奏楽フェスティバル	音楽活動を通して、小学生・中学生・高校生・社会人などの交流をを促進し、グループ活動の成果発表の機会を設ける。		▲
	岡山県こども備前焼作品展事業	岡山県の伝統文化である備前焼を通して、次世代を担う児童生徒が豊かな感性や創造性を養い、活力ある市民生活と地域文化の発展に貢献することを目的に県内在住の高校生以下のこどもの備前焼作品を対象にした公募作品展の開催。		◎
	市民文学賞事業	市民の文学創作活動を奨励し、豊かな地域文化の振興を目的に創設。		○

事業費等		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
決算額	事業費	千円	465	955	1,243
	必要人員	人	0.30人	2.703	0.61人
	必要人員	人	2,703	0.61人	5,707
財源	事業費	千円	3,168	6,662	4,986
	国 庫 支 出 金				
	受 益 者 負 担				
	繰 入 金				
	市 債				
その他(福祉教育文化財団文化活動助成)					150
一 般 財 源			3,168	6,662	4,836
受 益 者 負 担 比 率		%	-	-	-

結果指標名		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績
結果指標	応募者数	説明	岡山県こども備前焼作品展応募者数		
	結果指標量	人	534	584	1,057
	対前年比	%	-	109.4%	181.0%
	活動コスト	円	2,460,000	3,675,000	2,691,000
単位当たりコスト	円	4,607	6,293	2,546	

(平成27年度事業)

事業の成果		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度目標値
成果指標名	目標値(A)		800	800	600	1100
	実績値(B)		534	584	1057	到達目標値
	達成率(B/A)		66.75%	73.00%	176.17%	800

成果指標設定の考え方・式や説明

23年度以降の「岡山県こども備前焼作品展」の応募者数を指標にしている。次世代を担う児童生徒を対象にしているため、その応募者数がひとつの指標になると考える。

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ<■←「コピー」して「貼り付け」してください>		Check
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	A
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的HPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		

進行年度 (H28年度) の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況			○						
説明		「市民文学賞」の周知及び受賞者・作品の公表方法等を検討することにより、より多くの人にとってもらうとともに応募意欲増進を図り、応募者数を増加する。							

総合評価		総合評価
「岡山県こども備前焼作品展」は事業内容を見直し(応募部門の増設)により大幅な応募者増による効率性及び有効性を高めることができた。「吹奏楽フェスティバル」は実行委員会の活動によりコストの削減や市民参画度ほぼ満足できるものである。「市民文学賞」は創設されて間もない事業であり、事業への参加を促進していく必要がある。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成29年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性			○						
取組目標		「岡山県こども備前焼作品展」及び「吹奏楽フェスティバル」は現状継続により、「市民文学賞」は学校や関係団体に参加協力を促進し文学創作活動の奨励していくことにより、市の文化芸術活動を振興していく。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標を設定

Action